

衆議院5区補選で池田真紀さんの推薦を決定

連合北海道は、12月22日、札幌市内で第62回地方委員会を開催し、来年4月に実施されます衆議院北海道5区補欠選挙の候補者として、池田真紀さんを推薦することを満場一致で決定し、推薦状を授与した。

この推薦を受け池田真紀さんは、「私の全人生をかけると言っても過言でないほどの勢いで闘っていく。」「この立起を重たく受け止めているが、必ず乗り越えていくので、最後まで信じてもらえるよう頑張っていく。」と、勝利に向け全力で取り組む決意を表明した。



連合北海道も、出村会長が冒頭挨拶で「安倍政権の暴走を止め、安倍政権の転換を図っていくことは、立憲主義・民主主義を取り戻す闘いである。」「来年7月の参議院選挙で北海道選挙区徳永エリさんと、連合組織内推薦候補12名を完勝させていく。さらに、参議院選挙の前哨戦の意味を持っている4月の北海道5区補選で勝利し、安倍政権転換の足がかりにしていかなければならない。」と、暴走する安倍政権を退陣に追い込むため、組織の全勢力を傾注して衆院5区補選と、それに続く第24回参議院選挙の完勝を目指していくとした。

また、今次地方委員会では、2016春季生活闘争方針も提起され、実質賃金の引き上げと非正規労働者や未組織労働者への波及させていくことが確認された。

更に、前回の地方委員会で提起した推薦道議の一部推薦見直しについては、原案どおり5名の道議の推薦を凍結することが確定した。



今後、春季生活闘争、衆院5区補選、第24回参議院選挙と重要な闘いが続くが、連合北海道傘下の全組合員が団結して、全ての闘いでの勝利に向けて取り組み、「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう。